

第52回全国社会福祉教育セミナー2023in 大阪 開催要項

ポストコロナ時代のソーシャルワーク教育を考える ～コロナ禍の経験からの学びと魅力ある教育の展開に向けて～

◆趣旨

2020年からの新型コロナウイルス感染症の蔓延は、わが国のソーシャルワーク教育に大きな影響を及ぼすこととなった。特に実習教育においては、学生が実習施設・機関に直接赴き、利用者や職員と関わりながら実践的に学びを深めていくという、これまで当たり前に行っていたことが制限される事態となった。

しかし、そのような状況のなかでも「ソーシャルワーク教育を止めない、実習教育を止めない」という想いで、ICTの活用によるリモート実習や巡回・帰校日指導、実習施設・機関と養成校との打ち合わせ等の連携、実習担当教員間のオンライン会議など、様々な創意工夫による取り組みが全国各地で行われてきた。

また、2023年は、多くの養成校で社会福祉士新カリキュラムによるソーシャルワーク実習(2カ所以上実習)が本格的にスタートしている。これからは、政治・経済・社会が激動するなか、それらの動向を踏まえ、求められているソーシャルワークについて、在学生に対してはもちろんのこと、卒業生や現任者に対しても積極的に伝えていく必要がある。私たちはコロナ禍の3年間の経験を振り返った上で、その経験をどのように今後のソーシャルワーク教育や現任者支援に活かしていくのか、そのために養成校(教員)が共有すべき課題は何かを検討しなければならない。

今回の全国社会福祉教育セミナーは、このような昨今のソーシャルワーク教育をめぐる状況を踏まえつつ、「ポストコロナ時代」のソーシャルワーク教育について幅広く学び、議論する機会としたい。こども家庭ソーシャルワークに関する新資格、災害時の実習教育体制や災害に関する学びの促進、ソーシャルワーク教育へのICTの活用、卒後教育や既卒者への支援、そしてマクロ実践を含めた新カリキュラムによる社会福祉士・精神保健福祉士養成の現状など、私たちが学び、情報を共有し、議論が必要な課題は多岐にわたる。

今日の社会状況の様々な変化の中にあって、ソーシャルワーク教育とソーシャルワーカー養成の新たな一歩を踏み出すにあたり、ソーシャルワーク教育に携わる多くの皆様のご参加を期待したい。

◆開催日:2023年12月2日(土)～3日(日)

◆会場:大阪公立大学中百舌鳥キャンパス A5 棟(大阪府堺市中区学園町1-1)※参集形式

◆主催:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟

◆参加定員:300名

◆参加対象:養成校教職員・福祉従事者・一般の方

◆参加費:事前申込:16,000円/当日参加:20,000円

◆情報交換会参加費:5,000円(1日目:12月2日※事前申込のみ)

◆申込方法:以下のいずれかお選びください。

①専用申込フォーム(参加費は銀行振込でお支払ください)

<https://pro.form-mailer.jp/fms/6e687821236476>

②ソ教連オンラインショップ(※現在準備中:クレジット・コンビニ決済が可能)



<専用申込フォーム>

◆事前申込期限:

①専用申込フォーム:11月27日(月)正午まで

②ソ教連オンラインショップ:12月1日(金)23:59分まで

※情報交換会付の参加申込は11月27日(月)正午で締め切ります。

※12月2日(土)午前0時より当日参加金額になります。

◆プログラム

1日目:12月2日(土)

12:30-12:35	開会挨拶 中村和彦(ソ教連会長・北星学園大学)
12:35-12:40	開催校挨拶 山野則子(ソ教連副会長・大阪公立大学)
12:40-13:40	会長講演 中村和彦(ソ教連会長・北星学園大学) 「今日に求められるソーシャルワーク教育とソ教連の活動 ～2023年度の事業方針とプロジェクトの取り組みから～(仮)」
13:40-13:50	休憩
13:50-14:50	行政説明(厚生労働省・文部科学省・こども家庭庁)
14:50-15:00	休憩
15:00-17:30	シンポジウムⅠ 「こども家庭ソーシャルワークに関する新資格とソーシャルワーク教育 ～ソーシャルワーク教育における新資格の意義と今後の展望」 シンポジスト ・国 WG 委員の視点から:和気純子(ソ教連副会長・東京都立大学) ・SSWの視点から:山野則子(ソ教連副会長・大阪公立大学) ・子ども家庭福祉の視点から:澁谷昌史(ソ教連理事・関東学院大学) 司会:中村和彦(ソ教連会長・北星学園大学)
18:00-19:30	情報交換会

2日目:12月3日(日)

9:30-12:00	シンポジウムⅡ 「ポストコロナ時代のソーシャルワーク教育を考える」 シンポジスト ・新カリキュラムのソーシャルワーク実習・実習指導から :伊藤新一郎(ソ教連事務局長・北星学園大学) ・ソーシャルワーク教育におけるICTの活用から :坂本毅啓(北九州市立大学) ・災害支援教育及び支援活動体制の整備から :山本克彦(ソ教連会長補佐・日本福祉大学) ・既卒者支援・卒後支援から:中村卓治(ソ教連常務理事・広島文教大学) 司会:空閑浩人(ソ教連常務理事・同志社大学)
12:00-13:00	昼食休憩
13:00-14:00	テーマセッション① 「マクロレベルのソーシャルワーク教育の現状とこれから」 司会:渡辺裕一(ソ教連理事・武蔵野大学) 報告者:室田信一(東京都立大学) 報告者:守屋紀雄(堺市社会福祉協議会)
14:00-14:10	休憩
14:10-15:10	テーマセッション② 「新カリキュラムにおけるソーシャルワーク演習教育の実際と課題」 司会:保正友子(ソ教連理事・日本福祉大学) 報告者:小松尾京子(新見公立大学) 報告者:榊原美樹(明治学院大学)
15:15-15:35	2日間を振り返って:和気純子(ソ教連副会長・東京都立大学)
15:35-15:40	閉会挨拶:空閑浩人(ソ教連常務理事・同志社大学)

※プログラムは変更となる場合がございます。

◆後援(予定)

厚生労働省、文部科学省、法務省、こども家庭庁、全国社会福祉協議会、全国社会福祉法人経営者協議会、日本介護福祉士養成施設協会、日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本ソーシャルワーカー協会、日本介護福祉士会、認定社会福祉士認証・認定機構、ソーシャルケアサービス研究協議会、全国福祉高等学校長会、日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本地域福祉学会、福祉系大学経営者協議会、他

【お申込みに当たって】

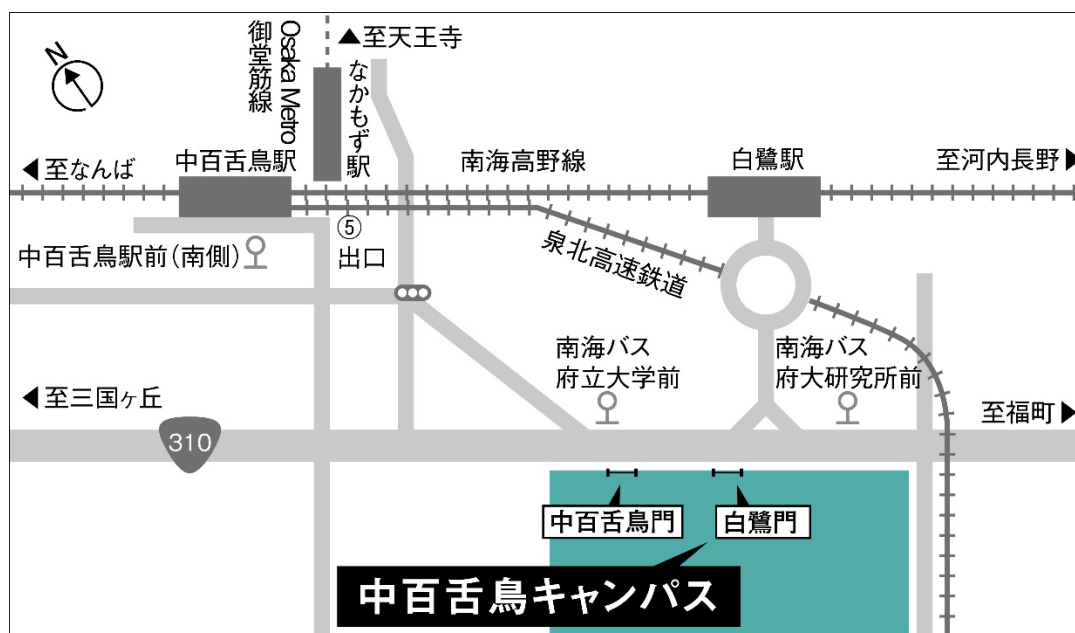
- ・ 参集での開催となります。オンラインや事後配信はいたしません。
- ・ 事前申込と当日参加で参加費が異なりますのでご注意ください。
- ・ 昼食のご用意はありません。各自で準備してください。ゴミはお持ち帰りください。
- ・ 会場は大阪公立大学中百舌鳥キャンパス A5 棟 118 大講義室です。参加者多数の場合、122 中講義室をサテライト会場とする場合があります。

【公衆衛生上の緊急事態や自然災害に関して】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況や行政機関からの開催制限の要請によっては参集の開催形式ではなく、全面的にオンライン形式での開催に変更する場合があります。その場合も参加費は変更ありません。
- ・ 自然災害等により本セミナーの開催を中止した場合、一旦納入された参加費等は返金できない場合があります。

【大阪公立大学中百舌鳥キャンパスへのアクセス】

- ・ 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ約 500m、徒歩約 7 分。
- ・ 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ約 1,000m、徒歩約 13 分。
- ・ Osaka Metro 御堂筋線「なかもず駅(5号出口)」から南東へ約 1,000m、徒歩約 13 分。
- ・ 南海高野線「中百舌鳥駅」・Osaka Metro 御堂筋線「なかもず駅」から南海バス(北野田駅前行 31、32、32-1 系統)で約 5 分、「府立大学前」下車。
- ・ 南海本線「堺駅」から南海バス(北野田駅前行 31、32、32-1 系統)で約 24 分、JR 阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」から南海バス(北野田駅前行 31、32、32-1 系統)で約 14 分、「府立大学前」下車。



【お問合せ先】

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 事務局
〒108-0075 東京都港区港南 4-7-8 都漁連水産会館 6階
TEL:03-5495-7242 FAX:03-5495-7219
メール:2023kenshu@jaswe.jp URL:www.jaswe.jp

